

子どもたちに育てたい「ゆたかな心」について

令和7年11月
立川市立新生小学校
校長 千葉 貴樹

今までに発出した学校だより「しんせい」でご紹介した内容を下記の通り整理しましたので、学校評価の際にご参考にしてください。

まず、本校が目指す「ゆたかな心」は、「豊かな心」ではなく「ゆたかな心」です。少しでも、優しいイメージがもてるようになりますようにしました。

さて、その本校が目指す「ゆたかな心」は8つあります。

- | | | |
|--------|-------|------------|
| ・ほめる心 | ・励ます心 | ・声をかけ相談する心 |
| ・協力する心 | ・謝る心 | ・感謝する心 |
| ・見守る心 | ・許す心 | |

もちろんこれら以外にも、「豊かな心」には、自然を愛する心や感動する心などたくさんありますが、本校が目指す「ゆたかな心」は、友達との関係の中で大切にしたい心を設定しています。

この中の次の3つについて設定した意図を紹介します。

◆声をかけ相談する心

友達がいやなことをされたり、気持ちが沈んでいる様子等が見られたりしたときに、声をかけたり、先生と一緒に相談に行ったりする心です。

他の友達に対して、いやなことをしている友達に注意する心も含めています。学校では、いじめ等友達同士のトラブルで、当事者以外の子どもたちが、自分に関係ないから知らんぷりではなく、第三者として関わることも大切であると考えています。

本校での学校評価における、児童を対象にした意識調査では、この心が一番肯定的な回答率が低いという結果になっており、全校で力を入れているところです。

◆見守る心

「声をかけ相談する心」と矛盾しているように感じられますが、状況によっては、すぐに声をかけず、そっとして見守り、困っている様子の時にそばに寄り添い声をかけることも大切なことなので設定しております。

◆謝る心・許す心

学校での日常生活では、友達同士で、嫌なことをされた場合に怒ることや、けんかになった場合には、強い言い方で言い合う場面もあります。

そのような場合、双方の気持ちを落ち着かせながら言い分を聞き、自分がいけなかったことや相手に言いたいことを時間かけて整理していきます。

その中で、自分に非のある部分を認めた場合には「謝る心」を発揮する、謝られたら「許す心」を発揮するなど、それぞれの子どもの気持ちを尊重しながら、相手のことを考えた対応について提案するようにしています。

併せて、謝れば何をしてもよいということにならないように気を付けて指導しています。

時には、とても嫌だったから謝らない、今回は許したくない・・・といった気持ちも成長の過程ではあることなので、その心も受け止め時間をかけて対応するように心がけております。

各教員は、自分の学級や専科等の状況に即して、大切にしたい「ゆたかな心」を一つ以上設定して、取り組んでおります。

「ほめる心」を重点の一つとして設定している教員が多いです。

なかなか思うようにいかない場合が多いですが根気強く取り組むとともに、各ご家庭においても、それぞれのお子さんの様子に合わせて、どれか一つ大切にしたい「ゆたかな心」を設定して取り組んでいただけるとありがたいです。